

製品安全情報

1. 製品及び会社情報

製品名 : Efil (エフィル)
会社名 : 大鵬薬品工業株式会社
住所 : 東京都千代田区神田錦町 1-27
担当部門 : お客様相談室
電話番号 : 03-3293-4509
ホームページ : <https://www.taiho.co.jp/>

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 : 区分 3
急性毒性 (経口) : 区分外
急性毒性 (経皮) : 区分外
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 区分外
急性毒性 (吸入: 粉じん, ミスト) : 区分外
皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2
呼吸器感作性または皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (中枢神経系, 全身毒性), 区分 3 (気道刺激性・麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (肝臓, 血液), 区分 2 (中枢神経系, 呼吸器, 肝臓, 脾臓)
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

水性環境有害性(急性)

: 区分外

水性環境有害性(慢性)

: 区分外

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気
眼刺激性
生殖器または胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系，全身の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる，または反復ばく露による肝臓，血液系の障害
長期にわたる，または反復ばく露による中枢神経系，呼吸器系，肝臓，
脾臓の障害のおそれ

注意書き

- 安全対策** 本品は人体・ペットに使用しないこと。
ミストに触れたり，吸い込んだりしないこと。
狭い空間で使用するときは，換気すること。
塩素系製品と混ぜたりしないこと。
故障のおそれがあるので電気機器の付近でのご使用は注意すること。引火のおそれがあるので火気の付近では使用しないこと。
直射日光や火気及び車内など高温となる場所を避け，子どもの手の届かない涼しい所に保管すること。
- 救急処置** 皮膚に付着した場合：水で洗い流すこと。
眼に入った場合：直ちに流水で十分に洗眼し，医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：水を飲んで薄めること。意識の無い人の口には何も与えないこと。医師の指示が無い場合は，無理には吐かせないこと。
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に連れて行き，安静にさせること。状況に応じて医師の診察を受けること。
- 保管** 直射日光を避け室温保存する。
製品容器(PET容器)に保管すること。
- 廃棄** 少量の場合は内容液を多量の水を流しながら下水に排水し，容器は一般廃棄物として処分する。
大量の場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法規に従って処理を行うか，許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	：混合物
一般名	：除菌消臭剤
成分	：エタノール, 水, イソプロパノール, グリセリン, 銀化合物, 有機系抗菌剤 (イソプロピルメチルフェノール), 亜鉛化合物 (硫酸亜鉛), 有機酸 (乳酸, クエン酸), 香料

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	：水で洗い流すこと。
眼に入った場合	：直ちに流水で十分に洗眼し, 医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	：水を飲んで薄めること。意識の無い人の口には何も与えないこと。医師の指示が無い場合は, 無理には吐かせないこと。
吸入した場合	：新鮮な空気の場所に連れて行き, 安静にさせること。状況に応じて医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消化剤	：二酸化炭素, 水または粉末消化剤を使用する。
火災時特有の危険有害性	：引火性の液体を含むため注意する。
特定の消火方法	：通常の消火方法による。
消火を行う者の保護	：適切な空気呼吸器, 耐熱性防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	：大量に取り扱う際には十分な換気を行い作業者の安全を確保する。作業者はゴム手袋や保護マスク等の適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	：環境中に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：乾燥土, 土, おがくず, ウェス等に吸着させ, 密閉容器に回収する。
2次災害の防止策	：汚染された物体及び場所を洗浄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	：近くに火気のない換気の良い場所で取り扱い, 大量に取り扱う際には「8. ばく露防止及び保護措置」記載の保護具を使用する。

安全取り扱い注意事項：

使用上の注意

1. 本品は人体・ペットに使用しないでください。
2. 用途以外には使用しないでください。
3. 一部の金属等，材質によっては変質（変色）するおそれがあるため，注意してください。
4. 汚れが原因のニオイは，使用后，汚れから再びニオイが発生することがあります。
5. アルコールに弱い人，アレルギー症状やかぶれ等を起こしやすい体質の人は，ミストに触れたり，吸い込まないようにしてください。
6. 狭い空間で使用するときは，換気して使用してください。
7. 塩素系製品と混ざると有毒なガスを発生するおそれがあるので注意してください。
8. 故障のおそれがあるので電気機器の付近でのご使用はご注意ください。引火のおそれがあるので火気の付近では使用しないでください。
9. 直射日光や火気及び車内など高温となる場所を避け，子どもの手の届かない涼しい所に保管してください。

保管

- 適切な保管条件 ：直射日光を避け室温保存する。
安全な容器包装材料 ：製品容器（PET 容器）

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 ：近くに火気のない換気の良い場所で取り扱う。

保護具

- 呼吸器用の保護具 ：保護マスク
手の保護具 ：ゴム手袋
眼の保護具 ：保護メガネ
皮膚及び身体の保護具：長袖，長ズボン，帽子等
適切な衛生対策 ：使用時には，飲食及び喫煙を行わない。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状・色 ：液体・無色透明
におい ：特異なにおいを有する。
pH ：3.0 ～ 4.0
溶解性 ：水に可溶
比重 ：0.905 ～ 0.913 g/mL (20℃)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 光により変質するおそれ有り。
反応性 : データ無し
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分外
使用原料の SDS 記載の経口 LD₅₀ データ及び各成分の配合量により計算し上記区分とした。

急性毒性 (経皮) : 区分外
各成分の区分が区分外のため上記区分とした。
なお、本混合物の成分 3%未満については急性毒性 (経皮) が不明である。

急性毒性 (吸入：蒸気) : 区分外
各成分の区分が区分外または分類対象外のため上記区分とした。

急性毒性 (吸入：粉じん, ミスト)
: 区分外
製剤を用いた試験結果により上記区分とした。
製剤：暴露濃度 87.2 mg/L, 4時間暴露で異常所見なし (ラット)

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 3
各区分の成分配合量から計算し上記区分とした。
区分 1：乳酸, 区分 2：クエン酸
なお、本混合物の成分 3%未満については皮膚感作性・刺激性が不明である。

呼吸器感作性または皮膚感作性
: 分類できない (データ不足のため)

眼刺激性 : 区分 2
各区分の成分配合量から計算し、製剤を用いた試験結果を考慮し上記区分とした。
区分 1：硫酸亜鉛, 乳酸, 区分 2 または 2A または 2B：エタノール, イソプロパノール, イソプロピルメチルフェノール, クエン酸
製剤：in vitro 刺激性スコア (IVIS) 39.6 刺激性を予測できない (BCOP 法)

生殖細胞変異原性：分類できない (データ不足のため)

発がん性：分類できない (データ不足のため)

生殖毒性 : 区分 1A
各区分の成分配合量から計算し上記区分とした。

区分 1 または 1A：エタノール, 区分 2：イソプロパノール

特定標的臓器毒性 (単回暴露)
: 区分 1 (中枢神経系, 全身毒性), 区分 3 (気道刺激性・麻酔作用)

各区分の成分配合量から計算し上記区分とした。

エタノール：区分3(気道刺激性, 麻酔作用), イソプロパノール：区分1(中枢神経系, 全身毒性), 硫酸亜鉛：区分2(全身毒性)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

：区分1(肝臓, 血液系), 区分2(中枢神経系, 呼吸器系, 肝臓, 脾臓)

各区分の成分配合量から計算し上記区分とした。

エタノール：区分1(肝臓), 区分2(中枢神経系), イソプロパノール：区分1(血液系), 区分2(呼吸器系, 脾臓)

吸引性呼吸器有害性：分類できない(データ不足のため)

12. 環境影響情報

生態毒性：利用可能な情報はない

水生環境有害性(急性)：区分外

：製品中の硫酸亜鉛配合量が0.1%以下かつ硫酸亜鉛の甲殻類の48時間LC₅₀=0.095mg/L(ECETOC TR91, 2003)より計算し区分外とした。なお, 本混合物の成分3%未満については水生環境有害性(急性)が不明である。

水生環境有害性(慢性)：区分外

：製品中の硫酸亜鉛配合量が0.1%以下かつ硫酸亜鉛の甲殻類の48時間LC₅₀=0.095mg/L(ECETOC TR91, 2003)より計算し区分外とした。なお, 本混合物の成分3%未満については水生環境有害性(慢性)が不明である。

残留性・分解性：利用可能な情報はない

生体蓄積性：利用可能な情報はない

土壌中への移動性：利用可能な情報はない

オゾン層への有害性：利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

少量の場合：内容液を多量の水を流しながら下水に排水し, 容器は一般廃棄物として処分する。

大量の場合：「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連法規に従って処理を行うか, 許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : クラス 3 (引火性液体類)
国連番号 : 1993 (その他引火性液体)

国内規制

陸上規制情報 : 消防法の規定に準拠する。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に準拠する。
航空規制情報 : 航空法の規定に準拠する。

一般的注意事項

1. 直射日光, 高温等を避ける。
2. 容器の破損, 漏れの無いことを確認し, 転倒, 落下, 損傷がないように荷崩れの防止を行う。

15. 適用法令

薬機法 : 該当しない
消防法 : 非危険物, 消防活動阻害物質 政令第1条の10「届出を要する物質」No.47 (硫酸亜鉛)
PRTR法 : 該当しない (銀及び亜鉛含有量 1%未満)
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (57条の2, 施行令18条の2別表第9) No.61 (エタノール) No.137 (銀及びその水溶性化合物) No.494 (プロピルアルコール)
海洋汚染防止法 : 施行令別表第1有害液体物質 Z 類物質
航空法 : 施行規則 194条の3に該当
毒劇物取締法 : 該当しない
水質汚濁法 : 指定物質 第2条第4項, 施行令第3条の3 (硫酸亜鉛)

16. その他の情報

本製品は, SDSの提出を義務付けられた製品ではありません。

製品安全情報の記載内容は現時点で入手できる資料, 情報, データに基づいて作成され, 通常取り扱いを対象に作成されたもので, 物理化学的性質, 危険・有害性等に関していかなる保証をなすものではありません。なお, 記載情報は改訂されることがあります。

附則

2017年9月19日 制定